

平成29年度市政懇談会会議録

開催日時：平成29年4月24日（月） 午後7時～午後8時

開催場所：境総合文化センター 小ホール

参加者：153人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

福田総務部長、池田企画部長、大澤財政部長、千吉良市民部長、小保方環境部長、町田健康推進部長、三澤福祉こども部長、横山長寿社会部長、出崎経済部長、喜楽建設部長、笠原都市計画部長、宮野公営事業部長、西川水道局長、小島消防長、高尾経営企画部長（市民病院）、須永会計管理者、下城議会事務局長、大澤監査委員事務局長、荻原教育部長

- 1 開 会 司会進行（企画調整課長）
- 2 特別職の紹介・市職員（部長職）の紹介
- 3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日は、お忙しい中、また、夜分にもかかわらず、このように大勢の方にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

この市政懇談会は、年度当初に、本年度、本市がどのような方向に進んでいくかについて、事例を挙げながら概要をご説明させていただき、また、皆様からご意見やご質問等を受けながら、一緒に元気なまちづくりを進めていこうという主旨のもと、開催させていただくものです。

限られた時間のため、スクリーンをご覧いただきながら説明をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

- 4 重点政策の概要
 - (1) 平成29年度重点政策について <市長説明>
 - (2) 質疑応答 <特別職及び全部長職>

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

◆伊勢崎市公共施設等総合管理計画の概要について

【質問】

境ふるさとまつりの補助金を増額していただき、大変ありがとうございます。いただいた補助金をこれから活用するわけですが、日頃、市長がおっしゃっている安心、安全という言葉に準じて、毎年、気温が上昇する中、熱中症対策、あるいは適正な保険、高齢者用休憩テントの設置等の諸費用に使わせていただきたいと思います。

本日は、伊勢崎市公共施設等総合管理計画について質問させていただきます。これから人口減少社会を迎える中、今年2月の新聞記事に、桐生市では今後35年間で公共施設の延床面積を45%削減する、という計画についての掲載がありました。また、先日の新聞記事には、沼田市では今後40年間で公共施設の延床面積を40%削減する、という計画についての掲載がありました。私たち区長は、住民から、この計画の内容について聞かれることがありますので、ここで改めて、昨年8月に策定された伊勢崎市公共施設等総合管

理計画の概要について教えていただきたいと思います。

【回答】（総務部長）

本市の公共施設等総合管理計画は、市全体の公共施設等の現状を分析、整理したうえで、総量の適正化、長寿命化の推進、効率的な管理及び有効活用という方針を明確にさせていただき、今後の個別施設計画の指針となる計画として、昨年策定させていただいたものです。

現在、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。本市においても、建物、道路及び橋梁等の更新が必要になってまいりますが、計画の中では、今後30年間で、年平均約20数億円の財源不足が見込まれるような状況でした。そこで、施設の統廃合や複合化、長寿命化などを進めるとともに、総合的かつ計画的な管理運営に努め、更新費用の縮減を図ることとしました。

この計画期間は平成57年度までの30年間ですが、本市の人口がほぼ変化しないと想定されることから、基本的に、計画では、現状の機能を実質的に確保することを目指していくこととしています。

なお、先ほどお話がありました桐生市では、人口が今後25年間で3割減少、沼田市では、今後40年間で6割減少するというようなことを想定しての計画だと伺っています。本市は、先ほど申し上げたとおり、人口がほぼ変化しないということを想定していますので、基本的には現状の機能を実質的に確保していきたいと考えている計画です。

◆道路整備について

【質問】

東西の市道がつながっていない場所があります。国領町辺りの西側からの道路がストップしており、東側は、境町が合併する以前、中島橋から境島村の諏訪神社まで道を整備していただきましたが、その間が未だに繋がらない状態になっています。私の家のところを県道境島村今泉線が通っていますが、県道とは言っても、大型車が通れるような道路ではありません。この道路を現在使っているわけですが、今後、この東西の市道を繋げていく計画はあるのでしょうか。現在、その県道を大型車が通ります。旧境警察署当時は、時々取り締まりも実施されていましたが、最近では、取り締まり等は実施されていないようです。そのため、この道路では、自動車はかなりスピードを出して走っているので、周辺の住民や住宅は大変危険です。

また、工業団地へ出入りする大型車の交通量が多いので、その振動にも周辺の住民は悩まされています。

このような状態を解決していただくため、工業団地の東の末端と境島村の諏訪神社の間の道路整備に早く着手していただきたいと思います。

【回答】（建設部長）

県道境島村今泉線のメインの通りのことかと思いますが、この道路の西側は、確かに工業団地で止まっています。この辺りの中側の道路については、生活道路としてご要望をいただいております。境地区においては、現在、37カ所の生活道路についてご要望が挙がっています。その中で、本年度については、8カ所の整備に取り組む予定です。

狭い道路を広い道路に整備するには、それなりの費用が必要となります。また、地権者

の協力等も必要となりますので、非常に難しいことではあるかと思えます。

工業団地に入出入りするような大型車は、広い県道境島村今泉線を利用していただき、中側の狭い生活道路については、緊急車両が通れるようにしてほしいといったご要望を挙げただけであれば、随時、対応させていただきたいと思えます。

【回答】（都市計画部長）

道路整備事業は、短期的なものではなく、かなりの時間と費用が掛かる長期的なものです。長期的な見通しとして、将来構想では、現在、工業団地のところで止まっている部分を東方面のもう少し先の県道までバイパスとして整備し、さらに中島橋を渡って、旧境警察署に直進できるような道路整備の計画があります。旧境警察署の通りから南へ出ると、旧国道354号でT字路になっていますが、そこから中島橋に行く区間については、群馬県事業として本年度から進めていくということで、現在、事務の調整を行っているところ

です。
また、境島村の道路整備については、状況を見ながら判断していくこととなりますので、すぐに着手することは難しいかと思えます。今後、地元の方と調整等を行いながら進めていくことになろうかと思えますので、時期等は未定ですが、大きな環状線としての将来構想は持っているということでご理解いただきたいと思います。

◇閉会あいさつ（市長）

本日は、夜分でお疲れのところ、また、お忙しい中、お集まりいただきまして、大変ありがとうございました。

また、皆様から、貴重なご意見やご質問等をいただき、ありがとうございました。

これからも、将来に渡って人口が減ることのない、元気であり続ける伊勢崎を皆様とともに目指してまいりたいと思えますので、今後とも、引き続き、皆様のご指導、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は、大変ありがとうございました。

5 閉 会（企画調整課長）